

市議会だより



台風15号の被害復旧のため市内外から多くのボランティアさんのご協力を頂きました。ありがとうございます。(ボランティアのべ818人)

(写真：ボランティアセンターの受付)

9月臨時会・9月定例会



ピーちゃん ナツちゃん

主な内容

- 議会の新体制 ————— 2～3P
- 提出議案の主な内容 ————— 4P
- 委員会での審査 ————— 5～7P
- 審議された議案と結果 ————— 8P
- 一般質問(代表3人・個人1人)の内容 — 9～11P
- お知らせ ————— 11～12P



市議会の新体制が決定！

改選後、初の臨時会が9月20日(金)に開催され、正副議長の選挙、各常任委員・議会運営委員等の選任が行われました。



鈴木広美 議長

昭和39年生まれ
誠和会 所属
平成23年度初当選
現在3期目



林政男 副議長

昭和28年生まれ
やちまた21 所属
平成11年度初当選
現在6期目

《就任挨拶》

市民の皆さまには、日頃より市議会の活動に対しまして、ご理解とご協力いただき、心から感謝いたします。このたび9月臨時会に於きまして、議員選挙により議長、副議長に就任させていただきました。誠にありがとうございます。市民の福祉の向上のため市民の皆さんと市議会の信頼関係をさらに築き、情報公開や議会基本条例の制定など議会改革を進め、市民に開かれたわかりやすい議会を目指して参ります。



林修三 監査委員

昭和19年生まれ
誠和会 所属
平成19年度初当選
現在4期目

一部事務組合議会選出議員

○佐倉市八街市酒々井町消防組合議員

・加藤 弘 ・木村 利晴 ・角 麻子

○印旛衛生施設管理組合議員

・丸山 わき子 ・山口 孝弘

○千葉県後期高齢者広域連合組合議員

・山田 雅士

総務常任委員会

委員長 副委員長
木村 利晴 石井 孝昭



委員の氏名（左から）
新見 準、鈴木広美、木村利晴、
石井孝昭、木内文雄、丸山わき子、
林 政男

議会運営委員会

委員長 副委員長
小菅 耕二 小高 良則



委員の氏名（左から）
加藤 弘、木内文雄、丸山わき子、
桜田秀雄、小菅耕二、小高良則、
山口孝弘、角 麻子、木村利晴

経済建設常任委員会

委員長 副委員長
角 麻子 小澤 孝延



委員の氏名（左から）
桜田秀雄、山田雅士、角 麻子、
小澤孝延、小川喜敬、林 修三

文教福祉常任委員会

委員長 副委員長
加藤 弘 山口 孝弘



委員の氏名（左から）
小菅耕二、京増藤江、加藤 弘、
山口孝弘、小向繁展、栗林澄恵、
小高良則

議会改革特別委員会

委員長 副委員長
山口 孝弘 石井 孝昭



委員の氏名（左から）
木内文雄、新見 準、小向繁展、
小川喜敬、山口孝弘、石井孝昭、
林 修三、丸山わき子、小澤孝延

広聴広報特別委員会

委員長 副委員長
小澤 孝延 山田 雅士



委員の氏名（左から）
木村利晴、新見 準、京増藤江、
角 麻子、山田雅士、小澤孝延、
小川喜敬、小高良則、栗林澄恵

9月臨時会 提出議案の主な内容

令和元年9月臨時会は、9月20日(会期1日)に開会されました。(紙面の都合上、議案の内容の一部を掲載しています。)

人事

- ◆教育委員会委員の任命
・並木 光男 氏(八街い)

専決

- ◆市立小学校空調設備設置工事
 - 機械設備工事の変更契約
・変更額 741万9千6百円増額
 - ・変更後の契約額 3億6千900万3千6百円
 - 電気設備工事の変更契約
・変更額 1千18万4千4百円増額
 - ・変更後の契約額 1億6千872万8千4百円
- ※空調機器の仕様変更や新設変圧器の容量などの工事内容変更及び台風第15号による停電に伴い、請負者に災害復旧の応援を優先して行っていたことから9月27日に延長する。

9月定例会 提出議案の主な内容

令和元年9月定例会は、9月30日に開会され、議案22件が提出され審議されました。(紙面の都合上、議案の内容の一部を掲載しています。)

条例

- ◆八街市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
 - 幼児教育・保育無償化の実施に伴い生ずる食費(副食費)の取り扱いについての改正
- ◆八街市子どものための教育・保育給付に係る利用者負担額を定める条例の一部改正
 - 幼児教育・保育無償化の実施に伴い、本市の利用者負担額(保育料)を負担している3歳児以上について無償とする改正及び2歳児以下の非課税世帯の利用者負担額(保育料)を無償とする改正
- ◆台風による被災者に対する市民税の減免に関する条例制定
 - 台風15号及び19号による甚大な被害を受けた被災者の生活再建の一助とするため、被害が発生した日以降に納期が到

予算

- ◆一般会計補正予算
 - 子育て世代包括支援センター運営事業費 400万円の増額
 - 住宅耐震化促進事業費
危険ブロック塀除却費補助金 200万円の増額
 - 台風15号による災害対策事業費 7千486万2千円の増額
 - 保育園災害復旧事業費 200万円の増額
 - 道路橋りょう災害復旧事業費 1千万円の増額
 - 小学校災害復旧事業費 620万円の増額
 - 中学校災害復旧事業費 2千117万円の増額
 - 幼稚園災害復旧事業費 50万円の増額
 - 学校給食センター災害復旧事業費 140万円の増額
 - 被災住宅修繕緊急支援事業
- 来する個人市民税を減免対象とし、減免申請後、最初に到来する納期から減免適用されます。
- ・台風が原因で被災者本人が死亡した場合など。
- ・住宅または家財の価格の30パーセント以上に損害を受けた場合。
- ・農作物の損失額の合計額が、平年の農作物による収入額の30パーセント以上になる場合。

決算

4億9千600万円の増額

- ◆一般会計歳入歳出決算の認定
- ◆国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定
- ◆後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定
- ◆介護保険特別会計歳入歳出決算の認定
- ◆下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ◆水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定
 - 平成30年度の各会計決算の審査は、決算審査特別委員会を設置し10月24日から30日の4日間に渡り行われました。決算の状況については、6、7ページに掲載しています。

契約

- ◆市立中学校空調設備設置工事
 - 教育環境の向上を目的に、空調設備を市内中学校4校の187教室(普通教室、特別教室など)に設置します。
 - 契約金額 4億920万円
 - 電気設備工事 1億4千520万円
 - 完成予定 令和2年3月25日

委員会での 審査

10月21日から23日に各常任委員
会が開催され、付託された議案等
を審査しました。(誌面の都合上、質疑
等の一部を掲載しています。)

総務

◆一般会計補正予算

問 財政調整基金繰入金は、今回の減額補正により5億1千7百52万3千円となるが、現時点の財政調整基金は、平成30年度末時点では、約26億円程度です。

問 台風15号による被害が、かなりあると思われるが、財政調整基金から出す検討は。

答 災害関係では、国庫補助対象、特別交付税対象となるものなどがあります。現時点では農業関係の額が確定していないこと、住宅関係支援についても確定していないことから一般財源の見当がついていない状

況です。不足分については、当面の間は財政調整基金の取り崩し、または、場合により一時借入金も想定しています。

問 農家の皆さんも支援内容によって、農業を縮小、またはやめてしまうような声も聞かれています。今後の支援についての検討は。

答 これから国県の補助事業を行っていく予定ですが、なるべく農家の負担を少なくする方向で検討しています。国の補助は10分の3、県の補助は10分の4、市の補助としては、過去の実績から10分の2補助を予定しています。農家負担としては、1割負担となり、また、共済に加入している方は、負担なく施設再建できると考えています。

問 第二庁舎解体工事の廃材を運搬するダンブは、市民と同じ出入り口を使用するのかが、安全対策は。

答 敷地内は市民と同じ正門を通過します。その際、警備担当者が出入り口まで誘導します。

文教福祉

◆印鑑条例の一部改正

問 旧姓併記は、どのようなことに役立つのか。

答 旧氏の記載された印鑑証明の利用方法としては、各種契約、銀行口座の名義、就職先などで、旧姓から本人確認できるなどの利点があります。

◆一般会計補正予算

問 保育園整備工事に伴う給食供給業務が増額となったが、理由は。

答 交進保育園の調理室改修工事について、当初、現在の調理室のみを改修する予定でしたが、設計委託の中で、調理室を効率よく使用するために拡張することが可能であると確認でき、調理室の工期が延長となったため、給食外部委託となりました。

問 子育て世代包括支援センターについて、ワンストップですべての妊産婦の相談に乗ることとなると思うが、人員は。

答 子育て世代包括支援センターの設置ガイドラインでは、保

健師1名を配置するよう規定されており、本市でも専任の保健師2名と兼任の保健師1名を配置する計画です。事業のニーズに比べられるよう人員確保を要望します。

問 ガイドラインでは、妊娠から子育て期、特に3歳までの子育て期に重点を置く内容になっています。しかし、地域の実情により、18歳までの子ども、保護者を対象とする柔軟性もありません。本市はどこに重点を置くのか。

答 本市では、すべての妊産婦と就学前までの乳幼児、保護者を主な対象者として考えています。

◆介護保険特別会計補正予算
問 小規模多機能施設整備が遅れているため、介護施設等整備事業交付金が減額となるが理由は。

答 入札時期が遅れたことによるもので、この交付金は、施設完成までの6ヶ月間の経費が対象となり、完成が令和2年7月から12月に変更となったため、今年度の申請を取り下げたことによる減額です。

経済建設

◆自転車駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正
問 今回設置する駐車場の台数見込みと、全体の合計台数は。

答 榎戸第1自転車駐車場の最大収容台数は、自転車とバイク併せて560台、第3自転車駐車場は200台で、今回設置する第2自転車駐車場の最大収容台数は約50台を想定しています。

◆給水条例の一部改正
問 現行制度では、新規のみの登録となっているため、途中でやめたりする業者が多いと思う。トラブルも多くなってきたと聞いています。市内での違法工事の件数は。

答 市に登録している事業者については、トラブルはありませんが、市の指定を受けていない業者が、工事を行う際に指定を受けていないまま工事を進めたという経緯は1件ありました。

◆一般会計補正予算
問 災害等発生時応急対応業務の増額

300万円の具体的な内容は。

答 下半期の災害時緊急対応分です。

問 道路整備事業費のグリーンベルト2カ所の具体的な設置場所は。

答 八街東小学校北側の一部の引き直し、八街五差路から木原入り口までの一部に新規設置を予定しています。

問 危険ブロック塀等除去費の補助要件は。

答 道路に面した敷地内にあるコンクリートブロック塀などで、道路の面からの高さ1メートル20センチを超え、かつ境界線までの水平距離以上である危険ブロック塀などの除去に要する費用の3分の2以内の額で10万円を限度としています。

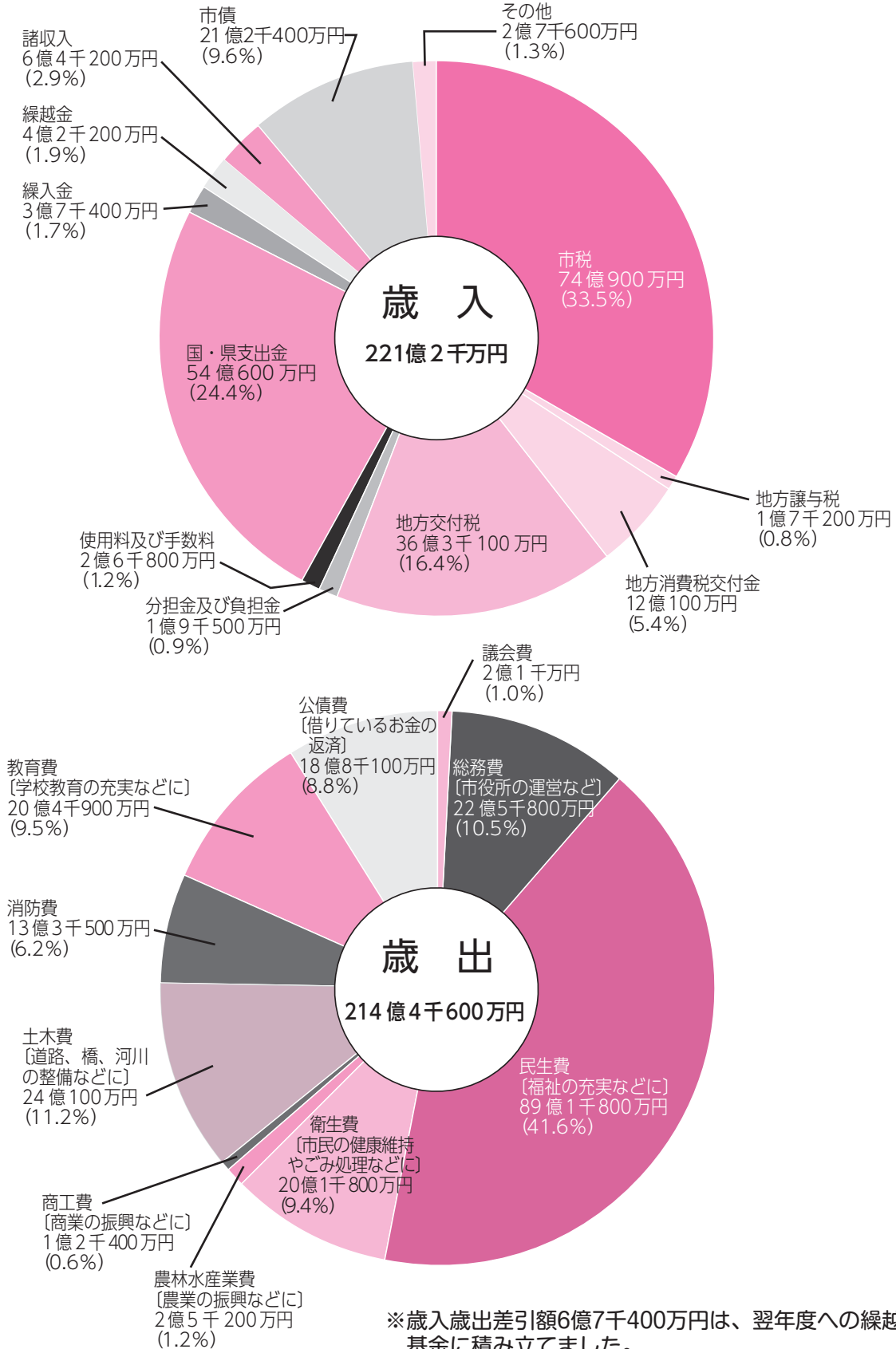
問 けやきの森公園管理業務の増額理由は。

答 けやきの森公園には57本の樹木があり、樹木の傾斜や、危険な枝などについて、優先順位をつけて剪定を実施します。

平成30年度各会計決算が認定されました

本決算は、10月24日～10月30日に決算審査特別委員会で審査が行なわれ、9月定例会最終日(11月1日)に委員長報告終了後、認定されました。

平成30年度一般会計決算



財政指標

区 分	平成30年度	平成29年度	平成28年度
財政力指数	0.660	0.651	0.642
実質収支比率	4.8%	6.4%	6.8%
経常収支比率	95.5%	93.0%	92.8%
公債費負担比率	13.0%	13.5%	14.8%

■財政力指数

3年間の平均値で表す。1に近いほど財政力が強い。1を超えるほど余裕財源を持っていることになる。

■実質収支比率

実質収支額の水準を判断するもの。3～5%が望ましいとされる。

■経常収支比率

財政構造の弾力性を示す指標として用いられ、この比率が高いほど経常一般財源に余裕がなくなると考えられ、通常は、75%～80%未満が標準とされている。

■公債費負担比率

財政の硬直性の高まりを示す指標。地方債の元利償還金に使われた一般財源の、一般財源総額に対する割合。一般的には15%が警戒ライン20%が危険ラインとされている。

平成30年度一般会計・特別会計決算

区 分	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	221億2千 万円	214億4千600万円
国民健康保険	87億1千900万円	84億5千500万円
後期高齢者医療	6億 100万円	5億9千600万円
介護保険	44億6千400万円	43億5千800万円
下水道事業	7億7千800万円	7億2千500万円

平成30年度水道事業会計決算

区 分	決算額
水道事業収益	11億9千900万円
水道事業費用	10億 300万円
資本的収入	5千600万円
資本的支出	3億 100万円

平成30年度一般会計予算、討論！ (一部要約)

反対討論

平成30年度の予算執行は、小中学校エアコン整備、児童クラブ整備など次代を担う子どもたちへの予算をはじめ、手話通訳、磁器ループ、手話と要約筆記者の配置、榎戸駅整備など市民要望の実現は評価するものですが、自治体本来のあり方である「市民の暮らしを守る」という立場にたった市政運営が必要となり、次の5点について早期に改善を求めます。

1点目は市税等の徴収のあり方です。差し押さえなどの収納対策強化を進めるのではなく、生活実態をよく聞き親身に対応する相談・収納活動への転換を求めます。2点目は公共交通の問題です。地域格差が生じている高齢者外出支援タクシーを見直し、誰もが安い料金で玄関先から利用できる乗合タクシーの実現と、ふれあいバスの特性を生かした取り組みを求めます。3点目に教育・子どもの貧困の問題です。貧困にあえぐ児童・生徒への支援拡充や年々増加する給食費滞納の支援対策強化を求めます。4点目に住宅政策です。住まいの不安をなくし、安心できる居住環境が必要です。高齢化が進む中で低廉・低層の高齢者住宅の建設を求めます。5点目は地域防災計画の見直しで防災対策を強化する問題です。情報伝達法方の確立、高齢者・障害者の避難所の確保とともに、住民の知恵と力で計画の見直しをすすめ、地域にあった防災対策の強化が必要です。以上の改善点を指摘し反対するものです。

賛成討論

本市の財政力は決して盤石とはいええず、財政構造の弾力性を測定する比率として使われる経常収支比率は、平成30年度で95.5パーセントと、前年度と比較して2.5ポイント悪化しています。

しかしながら、小中学校のエアコン設置、実住小学校内に児童クラブと放課後子ども教室の開設、児童館建設設計業務、家庭児童相談員の増員、庁舎の耐震化、榎戸駅の橋上駅舎・東西自由通路整備、交通便利性向上のための施策、情報公開に向けた施策、障がいがある方に対する施策など、市民ニーズに合わせバランスのとれた各種事業を展開しています。

これだけの事業を行った中で、本市の財政調整基金の残高は、平成30年度末には約26億円まで回復しました。これはあらゆる無駄を削って財源を捻出した、行財政改革の結果であるものと認識しております。

今後は、北総中央用水建設費負担金や、クリーンセンターの老朽化、上水道事業の経営悪化などの懸念材料があります。また、先日の台風被害においても、被災施設の修繕経費等、多額の費用が見込まれており、財政的に厳しくなるものと思われませんが、是非とも、この苦境を乗り越えていただき、高校生までの子ども医療費の助成や中学3年生へのインフルエンザ予防接種の助成など、さらに住民サービスを充実していただくことを期待して賛成するものです。

令和元年9月臨時会議案等賛否一覧

議案番号等	件名	結果	各議員の賛否																		
			議長	誠和会					公明党			やちまた21	改革クラブ		新誠会	日本共産党					
			鈴木広美	木村利晴	山口孝弘	林修三	小菅耕二	山田雅士	小川喜敬	角麻子	木内文雄	栗林澄恵	小向繁展	加藤弘	林政男	小澤孝延	桜田秀雄	新見準	小高良則	石井孝昭	丸山わき子
市長提出議案																					
議 1	教育委員会委員の任命	同意	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 2	専決処分承認(八街市立小学校空調設備設置に伴う機械設備工事の変更契約の締結)	承認	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 3	専決処分承認(八街市立小学校空調設備設置に伴う電気設備工事の変更契約の締結)	承認	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和元年9月定例会議案等賛否一覧

市長提出議案																					
議 1	八街市印鑑条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 2	八街市自転車駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 3	八街市給水条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 4	令和元年度八街市一般会計補正予算	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
議 5	令和元年度八街市一般会計補正予算	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 6	令和元年度八街市介護保険特別会計補正予算	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 7	令和元年度八街市下水道事業特別会計補正予算	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 8	令和元年度八街市水道事業会計補正予算	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 9	平成30年度八街市一般会計歳入歳出決算の認定	認定	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
議 10	平成30年度八街市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	認定	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
議 11	平成30年度八街市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	認定	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
議 12	平成30年度八街市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	認定	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
議 13	平成30年度八街市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 14	平成30年度八街市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定	原案可決及び認定	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 15	八街市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
議 16	八街市子どものための教育・保育給付に係る利用者負担額を定める条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
議 17	監査委員の選任	同意	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
議 18	八街市立中学校空調設備設置に伴う機械設備工事の請負契約の締結	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 19	八街市立中学校空調設備設置に伴う電気設備工事の請負契約の締結	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 20	令和元年度八街市一般会計補正予算	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 21	令和元年台風第15号及び令和元年台風第19号による被災者に対する市民税の減免に関する条例の制定	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 22	令和元年度八街市一般会計補正予算	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案番号等欄 議・・・議案
 ※鈴木広美議長は採決に加わりません。
 各議員の賛否欄 ○・・・賛成 ×・・・反対

市政を問う！



一般質問は、市の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし、見解を求めるものです。

9月定例会の一般質問は、10月9日(水)の1日間に4名の議員が質問しました。

(ここでは紙面の関係で、その一部を要約して掲載しています。)



代表質問

若者の声を市政に 小中高生を審議会委員に！

改革クラブ 桜田 秀雄



一審議会

問 各種審議会の現状と会議の公開は。

市長

令和元年5月1日現在、38機関、委員の数は380名です。会議の公開については、内容により公開にならない会議もありますが、「協働のまちづくり推進委員会」や「地域公共交通審議会」などは公開し18名の傍聴がありました。

問

いわゆる「頼まれ委員」について、複数の委員会に参加していると、顔出し委員になり審議会の形骸化につながる恐れがあるが、どうか。

総務部長

把握していません。

問

審議会を充実し、市長のブレインは市民という感覚が大切です。委員に小中高生など若者を登用する考えはないか。

総務部長

若者の声を取り入れられるよう検討します。

一災害対策

問

防災無線の有効活用は。

市長

停電により子局のバッテリーが枯渇し情報の提供が行えませんでした。今後、災害時に強い情報伝達方法を十分に検討します。

問

災害時用ホームページの切り替えは。

市長

ホームページによりリアルタイムな情報の提供に努めました。より市民の皆様によりわかりやすい情報伝達の手段を検討します。

問

ゴミの分別、袋の多言語表示は。

市長

現在、日本語と英語で表示しています。他の表示方法を参考に検討します。

一関連質問 新見 準

問

地域公共交通審議会の中で議会との関わりについて意見が出されている。早期に解決すべきと考えるが。

総務部長

ある程度の検討内容ができた時点で、議員の皆様にご報告したいと考えています。

代表質問 安心安全 豊かで住みよい街づくりのため

誠和会 木村 利晴



魅力ある街づくり

問 「第2期八街市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について、市の実情を踏まえた取り組みとは。

市長

基礎となる現計画の4つの基本目標は、1点目に、安定した雇用を創出。2点目に、新しい人の流れを作る。3点目に、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。4点目に、安全・安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する。としており「八街市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の各種取り組みを推進し、本市の人口減少問題や地域経済の衰退問題の打開、まち、ひと、しごとの創生と好循環の確立を目指します。

問

八街市内に分娩のできる産院の誘致は。

総務部長

周辺市町村の産科、産院との連携体制を構築し、安心して妊娠出産できる相談体制の充実を図ります。誘致については、総合戦略への位置付けを検討します。

代表質問 台風被害対策・支援の充実を

日本共産党 丸山 わき子



台風15号被害と対策

問

聞こえづらいという防災無線の改善について、防災メールやフリーダイヤルの活用を目指すとのことだが、高齢者・障害者の世帯や聞こえない地域の各家庭に受信機を設置できないのか。

総務部長

防災メールを進めます。

問

情報伝達のあり方については、今回、いかに正確な情報を早くきめ細かに市民に提供できるかが大きな問題になった。改善策は。

総務部長

台風19号が来ていますので、広報車を新たに3台確保し、6台と消防団で広報します。また、今までは走りながらの広報で、「聞きづらい」ということの指摘があり、止まって音声を流すというやり方を考えています。

農業被害支援

問

農作物の被害は。

市長

農作物の被害は約13億9千万円、農業関連施設は約46億円。また、パイプハウスが被害を受け、スイカの作付けにも影響があると考えます。停電により乳牛30頭以上が死亡し被害は約2千万円。鶏は約8千万円を見込んでいます。

問

大変な被害総額であり、今後八街の経済を大きく左右していくのではと心配される。農家の皆さんが意欲をもって農業にあたるよう、その支援の具体化が必要では。

市長

県単農業災害対策資金が発動されたことから、融資希望者に利子補給などの支援、さらに、国の被災農業者への補助事業等が決まり、市も施設復旧支援を進めます。

問

作物被害・畜産農家の減収については、種苗、肥料の購入、あるいは畜産関係の経営に関わつての支援は。

経済環境部長

県単農業災害対策資金が、肥料や農薬等の農業の再生に必要な資金として使用でき、農家の方の負担軽減をします。

災害対策

問

台風15号による被害、対策は。

市長

9月30日現在の罹災証明書は891件で、被害判定済では全壊2件、大規模半壊5件、半壊6件、一部破損683件です。農作物被害は約13億9千万円、農業関連施設は約46億円を見込んでいます。今後の災害に備えるため、検証を行い危機管理体制を整えます。

ロコモティブ シンドロームとは？

年齢と共に運動機能が低下し、自立度が低下することで、介護が必要となる可能性が高い状態のこと。

問

高齢者の健康増進、健康体操などの取り組みは。

市長

高齢者が健康体操を行うことで、ロコモティブシンドロームの予防に効果的で、高齢者が自立した生活を送れるようになれば、将来的には介護給付費や介護保険料の軽減につながるかと考えています。

個人質問

災害に強いまちづくりを

日本共産党 京増 藤江



冠水地域の早期解決

問 台風15号により冠水した住宅地の冠水解消計画は。

市長

大関地区の冠水解消計画については、排水量を軽減するため、調整池の計画も含め上流の五区地区の排水計画策定を行っています。なお、市から県に要望していた、住野地区の主要地方道富里酒々井線三島豊店前については、県印旛土木事務所が早期解消に向けた工事を進めています。他の排水経路についても雨量の調整が図れ、下流の軽減につながるよう計画を検討します。

問 八街中央中学校付近の道路冠水解決のために、実住小学校のグラウンド下にある貯留池の貯留量を増やす計画を立ててはどうか。

建設部長

実住小学校や八街中央中学校に「学校貯留」として整備しています。

さらに黎明高等学校の下に4区貯留池を整備しているので、これらの施設の貯留機能が低下しないよう維持管理に努めます。

破損家屋への支援強化

問 屋根瓦が破損した高齢者・障害者世帯を中心に自衛隊にブルーシート張りの協力をいただいたが、その他の世帯でも要望が多く寄せられ、「家がだめになれば住めなくなる」「こういつことをきちんとかやってくれなければ住み続けられない」という声が上がっている。災害の時には早い段階で自衛隊に支援を頼み、雨漏りを防ぐ取り組みを求めるが。

総務部長

多くの方からブルーシートを張っていただきたいという要望はありました。全世帯には回せないとお断りしました。



被災された皆様へ

令和元年9月はじめに発生した台風15号に引き続き台風19号、また、10月25日の千葉、東北地方での記録的豪雨により、道路の路肩崩壊、土砂崩れなどが次々と発生し、床上、床下浸水など甚大な被害をもたらしました。

強風や豪雨による河川の氾濫や家屋の倒壊等により、残念にも各地でたくさんの尊い命が犠牲となりましたことに対しまして、心からご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された多くの皆様に心よりお見舞い申し上げます。

本市においても、かつてない暴風雨災害により、甚大な被害に見舞われました。

復旧、復興にあたり、国、県、自衛隊、ボランティア、区、関係機関など地域の方々のご協力を頂き、心より感謝申し上げます。

当市議会では、発災直後、各地区給水所において給水活動の支援を行うとともに、災害による農業被害などの確認、現地で被災された方や、ボランティアの方々、町内会などの皆様から状況をお伺いし、各地区での要望等を行政に伝達するなどの活動に努めさせていただきました。

市議会といたしましては、今回、市民の皆様から伺った数々のご意見と実情を踏まえ、今後の市の防災のあり方について、市と協議してまいりたいと考えております。

八街市議会議長 鈴木 広美

クリーンセンターの災害廃棄物の受け入れ

千葉県に上陸した台風 15 号は、本市にも甚大な被害をもたらしました。住居の屋根や壁が吹き飛び、雨により家財道具も使用できなくなり、ブロック塀や倉庫などの倒壊に加え多くの農業用ビニールハウスが倒壊する被害となり、かつてない災害となりました。災害廃棄物の搬入に対応するため、最終処分場の埋立完了場所を仮置き場として準備し 9 月 14 日から本格的な受け入れを開始しました。

災害廃棄物の受け入れは、あらかじめ分別をすることが重要で、東日本大震災では、分別の徹底を行い災害廃棄物の仮置き場を設置したことで処理費が他自治体の 5 分の 1 程度で済んだという事例がありました。そこで、市民の方々へごみの分別をお願いしたところ災害で被災したにもかかわらず快くご協力をしていただきました。また、災害廃棄物仮置き場の運営については、多くの市民の方々や災害時ボランティアの皆様のご協力をいただき無事故で運営を行うことができました。厚くお礼申し上げます。

災害廃棄物の受け入れ状況は、10 月 19 日現在、搬入車両延べ台数 7,866 台、廃棄物総重量約 1,221 トン（うち農業用ビニール約 134 トン、道路等の倒木約 61 トン）でした。

〔記事 クリーン推進課長 土屋 武志〕



▲大量に搬入された災害廃棄物



▲種類ごとに分別された仮置き場

編集後記

広聴広報特別委員会では、市議会だよりの発行や皆さまへの情報公開を進めるための調査研究に関する事項について、定例議会が閉会中も継続して活動しています。

市議会だよりは、皆さま一人ひとりのお声をいただきながら、八街市議会に対して興味や関心を抱いていただけるような掲載記事等の協議を重ね、八街市議会の様子をわかりやすく情報発信することに努めて紙面の充実を図っています。

また、今回から八街市ホームページ内の「八街市議会」ページに直接アクセスできる QR コードを発行いたしました。これからも、皆さまに開かれた八街市議会を目指してまいりますので、多くの皆さまからの忌憚の無いご意見を賜れば幸いです。

（委員長 小澤 孝延）



▲市議会事務局のホームページにリンクします。